

自覚を持って生きていく

所沢市立所沢中学校

三年 関口 創士

僕は幼稚園から空手を続けている。住んでいる市の武道館には自主練で何度も通い、市民としてずっと安く利用させてもらってきた。県の強化練習では県立武道館を利用していただき、この夏出場した全国大会は、かつて長野オリンピックピック会場だったビッグハットで開催された。オリンピックマークがある立派な会場で、ここに出れるのが誇らしかった。

現在日本では政府の税金の使い方に対する疑問が膨らんでいる。僕も消費税を負担に感じたり、SNSなどのコメントを見ても疑問に思う事も多かった。しかしよく振り返ってみると自身、選手として税に恩恵を受けている事が多かったのだ。市の武道館が無ければ練習場所に困っていただろうし、今回の立派な会場も長野オリンピックの時に税金で建設されたものだ。現在は長野県から別会社に運営が受託されているが、そもそもこういったスポーツ施設に税金が投じられている事は多い。僕達スポーツや武道をする人間はただその恩恵を享受するだけでなく、施設を維持運営するにはまた多大な費用がかかる事を自覚しなければならぬ。僕達が不自由なく練習し、立派な会場で活躍できるのは、多くの人達の血税があつて支えられている

のだと感謝し、努力していかなければならないのだ。

そして今回の事をきっかけに税金について調べてみたら驚くべき事が沢山あった。世界各国と比べて日本がどれだけの税金を課しているか知っているだろうか。なんと個人所得税の最高税率に地方税を加えて割り出した実効税率を見ると日本が世界の2位だった。日本の税金に対する否定的な意見が増えていく大きな理由がこの税率の高さだろう。これだけを見ると世界で2位？やはり日本は税金多いんだ。とマイナスに感じる人が殆どだろう。だが、そのお陰で社会の秩序が守られているのも事実だ。例えば日本の治安の良さは多くの情報からも世界的にかなり上位に位置している。それは税金による警察組織の充実が大きな理由だろう。また、日本の教育レベルも世界でトップレベルだ。日本人の平均IQは世界一で学力水準も世界各国の上位に食い込んでいる。これも税金による教育関連の組織の充実が大きな理由だろう。

他の例は割愛するが日本は様々な分野で世界的に水準の高い国である事が分かる。多くの税金を納めている分、見返りも多いのだ。目の前の金銭負担ばかりに目を向けるのではなく、その分多くの恩恵にも目を向けられれば自然と税金に対する否定的な意見は減っていくのではないだろうか。多くの人にこの知識を拡散し社会の意識を少しずつ変えていく事が大事なのだと思ふ。

僕も恩恵を受けている社会の一員という事を自覚し、周りの身近な人からこの事を伝えていきたい。そして今後も真摯に感謝を忘れず空手を続けていこうと思つた。